



同時開催！
みえの育児男子
フォトコンテスト
ベストショット賞



受賞者
決定！

第3回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

みえのステキな“育児男子”や
“イクボスさん”を紹介します！

協賛

(株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム

語らいの里 ^{はなしの} 畷野

NEMU HOTEL & RESORT

里創人 ^{リゾート} 熊野倶楽部



表彰式

平成28年10月16日(日)

会場：三重県総合文化センター

第3回 ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いと言われていることから、三重県では少子化対策の重要な項目の一つとして、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打って、男性の育児参画の推進に取り組んでいます。

本事業は、一人でも多くの県民の皆さまに、男性の育児参画について関心を持っていただくこと等を目的に、子育て中の男性や、男性の育児参画を応援しているグループ、職場で従業員等の仕事と育児の両立を応援している上司や先輩等を募集し、“ステキな子育てをしている！”として多くの共感を得られた方々を、「ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ」として表彰し、その内容を紹介する取組です。本事業にご協力いただきました企業や団体の皆さま、ご応募いただきました皆さまに対し、心より感謝申し上げます。

大賞：7名

①“我が家の育児男子”部門…P1～P4

いなべ市	平尾	剛志	さん
四日市市	杉野	雅哉	さん
津市	福永	喜一	さん
いなべ市	小寺	俊行	さん

自慢のイクメン夫や子どもとの外遊び・スポーツが大好きなお父さん、孫大好き“育ジイ”など、その人なりの方法や関わり方で、ステキな育児をしている男性を紹介いただく部門です。

②“イクボスさん、いらっしやい！”部門…P5～P7

株式会社中部システムセンター 代表取締役社長

津市 田中 裕嗣さん

株式会社第三銀行 人事総務部人材開発課長

伊賀市 越村 立子さん

イオンビッグ株式会社 ザ・ビッグエクストラ玉城店副店長

伊勢市 石川 仁さん

子育て等を行う部下の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる経営者や上司、先輩など(男性・女性問わず)の日ごろのイクボスぶりを紹介いただく部門です。

部門賞：1名・1団体

③“私の街の育児男子応援団”部門…P8

菰野町 溝之上 幸雄さん

津市 清泉愛育園保護者会「チームせいせん」

お互いの子育てを応援しあっているパパ同士の集まりや、子どもの育ちを応援するためのさまざまな地域活動に取り組んでいる男性やグループ、団体などを紹介いただく部門です。

みえの育児男子ベストショット賞：5名…P9

鈴鹿市	山本	春香	さん
津市	杉野	香江	さん
松阪市	野呂	育美	さん
明和町	樋口	真由	さん
御浜町	時田	智子	さん



第2回「ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ」表彰式
平成27年10月12日(月・祝) 三重県文化会館

ファザー・オブ・ザ・イヤー inみえ

大賞

“我が家の育児男子”部門

いなべ市 平尾 つよし 剛志さん

育児対象 子ども(6歳、7歳)



一年の計は元旦にあり！ 我が家には、小学校1年生と年長の年子の娘がいます。ここ数年、元旦の恒例行事として、1年間の目標を設定します。

2016年の目標は長女の場合、

- 1.ーりんしゃがのれるようになる
- 2.いちにちいっぱいしかかない
- 3.ものをだいじにする 等。

次女の場合、

- 1.とけいができる(読める)ようになる
- 2.あさはやくおきるようになる
- 3.かたづけができるようになる 等。

少しだけ背伸びすれば達成出来そうな目標を自分で考え、私と相談しあって決めます。そして、自分で用紙に目標を書き、最後に決意表明を込めて手形を押します。もちろん私も娘達と相談しながら一緒に目標設定します。

これらの目標は1年間、リビングに張り出して、いつでも見れるようにして、娘達に意識付けさせると共に、親としては1年間かけて少しずつ成長を楽しみます。

娘達の寝かしつけは小さい頃から私が実施しています。私たち夫婦は共働きです。仕事から帰った妻は夕飯の準備から片付けと休む間がありません。妻に一日の終わりに休息してもらおう事と、娘達とコミュニケーションを取る場として、私は寝かしつけの時間を大切にしています。小学校・保育園で一日にあった出来事を聞いたり、絵本を読んだり、私の会社での出来事を話したり、そして月に1回ほどは目標に対するフォ

ロー会をします。出来るようになった事は？出来ない事はどうすれば出来るようになるか？等、子ども目線で話を聞いて、アドバイスをします。もちろん、出来るようになった事は褒める事は欠かせません。その時の娘達の笑顔は本当に私を幸せな気持ちにしてくれます。

元旦の時点では出来なかった事が今は出来るようになると、娘達なりに達成感を味わい、誇らしげにしています。娘達は私に対してもフォローしてきます(残念ながら目標未達成・・・笑)。

子どもと親がそれぞれの目標を設定して、お互いが1年かけて実行することは自分自身の為になる以上に子どもと親の信頼関係やコミュニケーションを取るためのツールになると思います。また、子どもの成長を実感出来て、親としても幸せを感じる事が出来ます。ダイエット！お酒を控える！子どもたちにフォローされる生活も楽しいですよ！(笑)

👍 審査員共感！ポイント

- 1年の目標を親子で立てて、お互いの目標について応援できる家族関係がとっても良い！他の家庭でも、親子でコミュニケーションを取るツールとして活用できそう！
- お母さんがのんびりできる休息タイムを作ってくれている！うらやましい。
- 子どもたちとしっかり向き合っている姿が想像できてステキ！

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

すぎの まさや
四日市市 杉野 雅哉 さん

育児対象 子ども(0歳、4歳、7歳)



私の育児スイッチがONになったのは、妻が3人目の子を妊娠した時だったと思います。3人目出産後の1か月間、6歳の長女と3歳の長男2人の面倒をどうやってみるのかと考えた結果、私は「育休」を取得して自分で家事と育児をやってみたいと思いました。

いざ、出産の日が訪れると、次男は元気に生まれてきてくれました。しかし感動もつかの間、その日から私の戦いは始まりました。

朝食の準備をして子どもを起こし、お弁当が必要な日は時間に間に合うように早くから作ったり、幼稚園に長男長女を送り出し、洗濯掃除をして、買い出しにスーパーへ行き、夕ご飯の準備をしていたら、自分のお昼は食べれなかったなんていうことは何度もありました。これを毎日こなしていた妻に尊敬と感謝の気持ちを抱きました。

失敗もいっぱいしました。夕飯にかぼちゃ料理を作ろうと、硬いかぼちゃを力まかせに切ろうとしたら、テレビドラマのように見事に親指を切り、まな板が血まみれになったり、せっかく苦勞して作ったお弁当を冷蔵庫に入れたままにして、幼稚園まで届けるはめになったりと、失敗エピソードには事欠きません。

しかし感動したこともありました。イヤイヤ期の長男が中耳炎になり耳鼻科へ連れて行ったところ、大暴れして先生を蹴ってしまったり、治療器具を壊してしまったり。そんな長男が3回目の通院時に、自分から「お父さん。今日は僕、泣かないから！できるから！」と宣言して、つらい治療に耐えて最後まで泣きませんでした。私は長男のこの頑張っている姿を見て、ほろりと涙をこぼしてしまいました。この小さな

成長を、すぐそばで実感でき、とても幸せに感じるとともに勇気をもらいました。

1か月はあっという間でしたが、私にとってこの1か月間はものすごく有意義な時間であったと感じています。こんな素晴らしい機会を与えてくれた妻と子ども達、そして会社に心から感謝しています。

現在、育休期間が終わって早1年が過ぎようとしています。毎日帰宅すると3人の子どもを風呂に入れ、ご飯を一緒に食べ、仕上げ歯磨きをして、絵本の読み聞かせをして寝かしつける、というのが私の今の担当です。これをなるべくこなせるように、「夕方6時までには家に帰る！」を目標に仕事も効率的に進め、時間生産性を向上させるように今まで以上に取り組んでいます。「自分の人生の中で、育児を出来るのは今しかない！」という思いで、これからも全力で育児を楽しんでいきたいと思っています。

最後に、普段はあまり人を褒めない妻をして「母乳を出すこと以外は、完璧にやってくれた。感謝しとるよ」とまで言わしめることが出来ました。

👍 審査員共感！ポイント

- 最初からイクメンだったのではなく、3人目の妊娠でスイッチがONになったところ。失敗も沢山して、悪戦苦闘しながら色々なことを乗り越えて今がある感じが良かった。
- 育休が終わった今も、働き方を見直すなど、高い意識で育児に関わり続けているところがステキ！
- “母乳があって良かった”とお母さんに思わせてしまうくらい、お子さんがお父さんに懐いていそう。

ファザー・オブ・ザ・イヤー inみえ

大賞

“我が家の育児男子”部門

津市 福永 喜一 さん

育児対象 子ども(1歳、2歳)



「生き生きと働いている君が好きだ。結婚しても、子どもが生まれても、お互い仕事を続けて、家事も分担してやっていこう」 そう言ってプロポーズした妻との間に、一昨年と昨年、続けて男の子が授かり、現在親子4人で生活しています。今年の4月に仕事の関係で熊本県から三重県に転居し、妻の転職にあわせて第二子のために5月から3か月間育児休業を取得、8月から職場復帰しました。

毎日バタバタ、七転び八起きで息をつく間もないですが、「出産とおっぱい以外は男でもできる」をモットーに、日々それぞれの職場の方々に助けていただきながら、楽しく子どもを育てています。その中で、私が「これやってよかったな」と思っている次のことを伝えさせてください。

(1) 家事・育児の作業のリスト化

総作業量、分担比率をお互い確認し、夫婦間の認識のズレを修正する。平日の私の担当作業は約半分。主要なもので、子どもの起床介助⇒朝食準備・介助⇒朝掃除⇒保育園送・迎⇒洗濯取り込み⇒夕食介助⇒入浴介助⇒寝かしつけ⇒洗濯干し⇒登園準備 といった具合です。

(2) ゴール(合格水準)の確認

仕事でも家事でも、求められているモノの方向感と水準を、作業開始前に上司(家庭ではパートナー)に確認・相談する。(ムラや手戻り防止効果があります)

(3) 外部に協力を求め、相談する

自分の中で、「したいこと」「できること」「条件

が合えばできること」「できないこと」を明確にして、職場や家族間で補完措置を相談する。特に職場では「できないこと」は言いにくいですが、生産性の維持・向上・ロス防止のためには、最も相談し合意しておくべき事項だと思います。

(4) 家族だけでなく、市町が行っているファミリーサポートセンターや民間ベビーシッター等を頼る。

自分では対応できなかったり、一時的に自分の時間を確保したい時に頼れる先があれば、たとえ活用頻度が少なくとも気持ちが楽になります。特にファミリーサポートセンターはオススメです。

最後となりましたが、家内安全・商売繁盛につながるイクメン・イクボスのカギは、「母親なんだから…、男なんだから…」といった古い先入観ではなく、ありのままに「自分や相手の適正と状況を見る」ことに尽きると思います。

👍 審査員共感!ポイント

- 家事・育児のリスト化など、女性には思いつかない、男性的な考え方がとても新鮮!
- ファミリーサポートセンターを利用するなど、賢い子育てを実践されているところが良い!ママの負担軽減にもつながる。
- 熊本から三重に来られて、まわりに誰も頼れる人がいない中で、第二子が生まれても夫婦共働きでいられるのは、パパの育児参画があってこそ!

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

いなべ市 小寺 俊行さん

推薦者 小寺 淳子さん(妻)
育児対象 子ども(18歳、23歳)、孫(0歳)



私たち夫婦は共働きで、結婚当初、そして娘たちが生まれてからも、家事・育児にとっても協力的なお父さんのおかげで、私は今まで仕事を続けることができています。

“うちのお父さんこと元祖育児男子!”をみなさんに紹介したくて、昨年度に続き、応募させていただきました。

今年結婚25年を迎え、普段なかなか口では言えない感謝の気持ちを伝えたいと思います。「お父さん、いつもありがとう。これからもどうぞよろしくお願ひします。」

小学校の授業での「家のことを主にする人は誰ですか?」という先生の質問に、迷うことなく「お父さん」と答えた長女(私たちの姿を見て育ちました)が、昨年、お父さんと同じくらい優しくて協力的な人と結婚し、今年7月に女の子を出産しました。ただ今里帰り中で、お父さんは育ジイの仲間入りをしました。新米育ジイは、沐浴、爪切り、耳掃除、ベビー

カーでお散歩、抱っこと悪戦苦闘しながらも、とても楽しそうです。

次女も来月19歳になり、我が子の育児はそろそろ卒業ですが、これからは育ジイとして頑張ってくれること間違いなし。育ジイぶりが目に浮かびます。

👍 審査員共感!ポイント

- イクメンという言葉が主流になる前から、「家のことを主にするのはお父さん」と子どもが自然に言えるぐらいの家庭への関わり方がすごい!
- 女性が仕事をずっと続けることが難しい時代でも、理解してくれていた点がステキ。
- お孫さんが生まれて、今度は“育ジイ”を楽しんでいる姿が、女性から見て嬉しい。応援しています!

大賞以外にも、**十パパ十色**のステキな子育て方法や家族の関わり方がありました。中でも審査員の方々が「県民の皆さんにぜひ紹介したい!」と選んだ2つの事例をご紹介します!

“ママちゃん・パパちゃんデー”で 日々のストレスも解消!

我が家では、“火曜日はママちゃんデー”、“金曜日はパパちゃんデー”と決まっています、その日の夕飯後は、子どもを相手に頼んで出かけて良いルールになっています。

これを提案してくれたのがパパ!私が出かけるときは、コンビニに行ったり、車内で誰にも邪魔されず携帯をいじったり…。ほんの数時間ですがリラックスになります。その分、金曜日はパパに思う存分満喫してもらっています。

今度のママちゃんデーは何しようかな?

家事育児100タスクも一人でこなす! 二児のパパ奮闘中

朝と夕方、そして不規則の家事育児をまとめた“家事育児100タスク表”というものがありますが、そのすべてを行っています。その中でも特にここがけていることは、20年、30年後に二人の息子がどのような人生を送っているかを最優先に考えて、「子どもの習い事や塾、進路の情報を集める/送迎をする」こと、そして“食と健康アドバイザー”の資格を生かして、子どもの発育を考えた、食事を用意することです。

妻が自分の命と引き換えにこの世に残してくれた命を、大切にしていきたいと思っています。

ファザー・オブ・ザ・イヤー inみえ

大賞

“イクボスさん
 いらっしやい!”部門



株式会社中部システムセンター
 代表取締役社長

津市 **田中 裕嗣** さん



当社では、育児や介護との両立を支援するために、「ファミリー時間休暇」という休暇制度を策定し、2014年5月にスタートさせました。この休暇制度により、出産前後の妻のサポート、保育園や学童の送り迎えや行事参加、家族の介護など、出産1か月前から小学校3年生までの子どもを持つ社員や介護に向き合う社員が1時間単位で有給休暇を取得して仕事を抜ける事が可能です。これは通常の有給休暇とは別に、対象の子どもや要介護者1人につき年間48時間（対象者が2人以上の場合は、96時間）取得できるようにしています。

ささやかな支援かも知れませんが、これにより家庭環境によって自らのキャリアを諦めることなく、時間を上手に使って仕事と私生活の両方を充実させていく事もできます。

私自身、3人の子どもがいて、育児や行事参加は積極的に行いたいと思っています。別の会社に勤めていた頃は、周りに気を遣いながら、ちょっとした妻のサポートでも別の理由をつけて半休を取ったりしていました。例えば、「妻の体調が朝から思わしくないの

妻の代わりに子どもの朝ごはんを食べさせてから出社したいと思います。」なんて、なかなか理解されづらいです（笑）。だから結局、「自分の体調が悪いので半休だけ取らせて下さい。」となってしまいます。こういった、育児や介護をする上で発生するであろう諸事情への支援を自らの経験で必要と感じましたし、社員からも非常に好評です。

審査員共感!ポイント

- 有給休暇とは別に「ファミリー時間休暇」が取れる会社の制度。こうした制度があっても、使いにくくは意味がない。それをとりやすくしてくれているところが good!
- 家族のことも包み隠さず言えて、それを理解してもらえる職場の関係がステキ。
- 育児や介護をする上で発生するであろう諸事情への支援を、自らの経験から必要と感じて実践されているところが素晴らしいです。

ファミリー時間休暇制度

【自らの経験を通じて、以下のようなサポートが必要と感じた。】

- ・出産前後や育児中に可能な範囲で妻をサポートしたい
- ・妻の緊急時や体調不良時に一時的な子どもの世話や送り迎えをしたい
- ・子どもの行事への参加のために一時的に会社を抜けたい
- ・子の発病時に学校まで迎えに行くために一時的に会社を抜けたい

【制度概要】

- ★育児・介護世代の社員が気軽に仕事を抜けられるための支援
- ★年 48 時間（最大 96 時間）の時間単位の有給休暇を、通常の有給休暇とは別に設定
- ★育児であれば出産 1 か月前から小学校 3 年生まで利用可
- ★業務時間内のどこの時間帯に何時間使用しても良い

【現状】

- ★子を持つ社員全員（5人）が積極的に取得中
- ★子の育児・看護・お迎え・参観など、様々な目的で取得
- ★サンタ役でクリスマス会に参加したり、仕事中の妻の代わりにお迎えに行ったりしている。



ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“イクボスさん
いらっしやい!”部門

株式会社第三銀行
人事総務部人材開発課長

伊賀市 越村 立子さん



推薦者 水谷 泉さん(部下)



イクボスと言えば“男性のボス”というイメージが強いと思いますが、当行の人材開発課のイクボスは女性です。その名も“越村ボス”です。

越村ボスは、かつては2人の子どもを育てながら仕事と育児に奮闘していた経験があります。当時は育児休暇や短時間勤務制度等は無く、ただがむしゃらに頑張っていたそうです。そのような経験があるからこそ、ワーク・ライフ・バランスの両立に向けた理解があって当たり前と思われがちですが、正直時代は違います。時代に合わせたイクボスとしてスイッチを切り替え、理解や意見をもらっています。

「授業参観? ええよ～行っておいで! しっかり子どもを見たらなあかんで!」「旗当番? 緑のオバサンしてくれるの? ちゃんと子どもらが交通マナー守ってるか見たってな!」「みんな(人材開発課職員)も子どもの頃そうやって育ってたんやんな～。有難いよなあ!」と必ず一言掛け、“子どもを見る”ということに理解をしてくれます。少なからず遅刻や早退をすることで、業務は他の職員に助けてもらわないといけないことがあります。この一言で働くママの気持ちがかんたくなります。

ボスの役割は、ボスの理解だけではなく、周りの職員の理解を得ることで風通しの良い職場環境づくりをすることであると思います。越村ボスは、子育てに限らず、ワーク・ライフ・バランスへの理解や、部下職

員のキャリアについてもしっかりと指示をしてくれます。「この本、仕事にもプライベートにも役立つから読んでみる? 電車の中で読めるような本だから。」と、通勤時間などを活用して何か出来ることを提案してくれます。私自身、皆が助けてくれる分、もっと能力を上げたいと考えるようになりました。子育てをしながらキャリアを描くのは大変ですが、そっと背中を押してくれるだけで頑張れるものです。そんなことを教えてくれるイクボスです。また、女性の管理職として、男性職員へイクボスのアドバイスを行うことも。当行でイクボスが着実に根付いていくことを期待しています!

👍 審査員共感!ポイント

- 自分自身ががむしゃらに頑張ってきた経験をもとに、ボスだけが理解するのではなく、周りの職員の理解を得ることで風通しの良い職場環境づくりをしているところがステキ!
- 単純にプライベートを優先させるのではなく、同時にキャリアアップや仕事の実績を上げるためのサポートも上手にやっているところが素晴らしい。
- 部下が「皆が助けてくれる分、もっと能力を上げたい」と思える職場がうらやましいです!

ファザー・オブ・ザ・イヤー inみえ

大賞

“イクボスさん
いらっしやい!”部門

イオンビッグ株式会社
ザ・ビッグエクストラ玉城店副店長

いしかわ ひとし
伊勢市 石川 仁さん



推薦者 岸本 麻裕さん(部下)



副店長をしている石川仁さんを“イクボス”として推薦いたします。

石川副店長は、自らも9歳と4歳の2人のお子さまを持つパパであり、休憩時間には、よくお子さまのお話をされています。

単身赴任をしている社員が多いので、家族が来るときはどこに連れて行くのとか、独身の部下には、家族をもつことの素晴らしさを楽しそうに話してくれます。

我々の職場は、人によって入社時間、退社時間が異なります。ひとりでも多くの仲間に声をかけ、さりげなく退社時間を聞き出してくれます。そして、時間が近づくと、時間通りに終わるかどうかが、何が終われば帰れるのか、終わりそうになれば一緒に終わらそう、と手を差し伸べてくれます。そして「気を付けて帰ってください」という声掛けをさせていただきます。

子どもや家族の事情で休まなければならない人に対しても「家族あっての仕事です。こちらのことは気にしなくても大丈夫です」と、思いやりの言葉を述べてくれます。常にいろんな意味で「味方」であってくれらるというだけで心強いです。

「子どもの参観日なので、どうしてもここは休みたいんです」と少し前まで、勇気を振り絞って相談していましたが、今では、気軽にスケジュールの相談もしやすく、チーム全体の「お互い様精神」「助け合い精神」が大きくなってきたと思います。

自分の成果を優先した働き方ではなく、店全体、と



きには部下ひとりひとりの成果向上をめざした働き方で「ついていこう!」「石川副店長のためにも!」と思える尊敬すべき上司です。上司がそうであるからこそ、退職者も少なく働く従業員みんなが、イキイキと仕事に取り組んでいます。

副店長ゆえ、事務的な仕事も多々ありますが、5分でできることは、先にやっしまおう、とその場ですぐに処理してくれます。「ちょっと待って」と言われたことは、ほとんどありません。

そして、石川副店長自身も、現在単身赴任中ですが、お休みの度にご自宅へ帰られるとのことで、管理職ですが、お休みの日はきっちりとお休みされます。

仕事のメリハリがあり、家庭あっての仕事、「ワーク・ライフ・バランス」ではなく「ライフ・ワーク・バランス」を保たれている、まさに“イクボス”だと思い、推薦いたします。

👍 審査員共感!ポイント

- 毎日忙しそうなサービス業で、「家族あっての仕事」と、子どもや家族の事情で休まなければならない人にも思いやりの言葉をかけてくれるのが嬉しい!
- 従業員の皆さんが心から感謝をしている様子が伝わってくる。
- 会社の制度があるかどうかということではなく、ご自身の裁量の中で、できることをやっているところがステキ!

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ
部門賞

“私の街の
育児男子
応援団”部門

菟野町
みぞのかみ
溝之上 ゆきお
幸雄さん

推薦者 小林 美帆さん
(職場の部下)



審査員共感!ポイント

- 同僚の子育てを見守るあたたかさを感じました。こんな気持ちをもった方が増えるといいですね!
- 子どもたちを喜ばせるだけでなく、新米パパやママの相談にも乗ってくれるのは、一緒に働く方には本当に心強い存在だと思う。

私が推薦したいのは、私が働く病院の運転・営繕課長の“おじさん”です。(藤岡ヒロシ似のワイルドなおじさんです。)日ごろは、患者様や利用者様の送迎、病院や施設の営繕業務をされています。

私たちの病院は、職員家族との繋がりを大切にするアットホームな職場をめざしており、職員家族同伴のイベントなどを年間いくつか企画し、開催しています。そこで、このイベントなどを運営してくださっているのが、おじさんです。仕事の合間や休みの日を利用してイベント準備等を行ってくださっており、毎年実施しているBBQ大会では、準備や運営はもちろん、川遊びや魚釣りを教えてくださっています。秋の恒例芋ほり大会では、託児所横の畑で春からサツマイモを育ててくれ、秋に子どもたちが収穫して楽しんでいます。これらの活動のおかげで、職員家族と職場の良好な関係ができ、親しみやすい職場になっていると思います。子どもたちのために汗水たらして活動してくださるおじさんに感謝です。

私がおじさんを推薦したのは、子どもたちと遊んでくれたり、イベントをしてくれるからといった理由だけではありません。私がおじさんとイベントなどに参加してわかったことは、おじさんは、私たち新米パパ・ママの教育をしてくれているのです。話しやすい方で、育児の相談等にも乗ってくださり、冗談交じりの会話でいろいろとアドバイスもしてくれます。子どもとの接し方、遊び方、叱り方などなどいろいろと勉強させられています。

今回、おじさんにお世話になっている職員一同を代表してお礼を言わせていただきます。「おじさんありがとう。これからも新米パパ・ママの指導よろしくお願いします!」

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ
部門賞

“私の街の
育児男子
応援団”部門

津市
せいせんあいいくえん
清泉愛育園保護者会
「チームせいせん」

推薦者 松林 秀典さん
(同保護者会会長)



清泉愛育園保護者会「チームせいせん」は、保育園の保護者会としてはとても珍しく全員パパで役員が構成されています。

保護者会といえば、必ずママの参加が思い浮かびますが、保育園に通う小さな子ども達を持つママにとって、役員会などは大きな負担になるため、日頃から登降園や保育園行事に積極的に参加しているパパが、積極的に役員活動をすることでママへの負担を減らすことができるという思いのあるパパが集まるようになり、現在の父親での役員構成の形態となりました。

もちろん、日頃から家庭での子育てに協力的なパパの集まりであるため、子ども達の笑顔が大好き!そんなパパ達は「おやじの読み聞かせ会」として、園児相手にパパによる読み聞かせを企画・披露するほどの子ども好きの集まりです。もちろん、読み聞かせ会は大盛況!

こういった企画を、次々と考え楽しみながら、我が子はもちろん多く子ども達といつも笑顔で接することができるパパの集まりです。

審査員共感!ポイント

- 保育園や幼稚園の役員は女性が多いイメージがあるけれど、パパが関わることで、わくわくするような活動が増えて、子どもたちも笑顔いっぱいなんだろうと思う。
- ママの負担を減らしたいという心意気に感動。パパだけの役員構成は、今後広がっていきそうな可能性を感じました。

平成28年7月4日保育園のなつまつり会で、保護者会主催でパパによる読み聞かせ会を企画・開催した様子です。当初30分の予定が45分に延長するほどの大盛況でした。

みえの育児男子
フォトコンテスト
ベストショット
賞



松阪市 ^{のろ}野呂 ^{いくみ}育美さん

休日はファミリーデー!
松阪市のベルファームでの一枚です。



夫(クレベルさん)と子ども

御浜町 ^{ときた}時田 ^{ともこ}智子さん

3代揃っての「だるまさんが転んだっ!!」



義父(勝弘さん)、夫(洋行さん)と子ども

津市 ^{すぎの}杉野 ^{かえ}香江さん

少し足をのぼして木曾駒ヶ岳に行きました。晴天に恵まれ、雪の残る山道をいつものベビーキャリアで娘もご機嫌でした。



夫(弘樹さん)と子ども

鈴鹿市 ^{やまもと}山本 ^{はるか}春香さん

「ん!」と、シャボン玉セットを片手にじいじの手を引く甥っ子。遊んでもらってご満悦♪



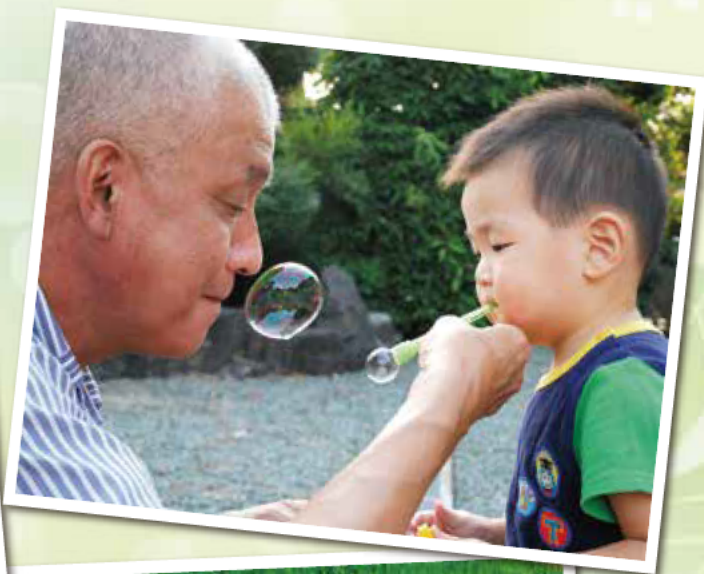
父(若林明義さん)と子ども

明和町 ^{ひぐち}樋口 ^{まゆ}真由さん

長男と一緒に寝そべて空をながめているところです。顔もそっくりな夫と長男のポーズまで一緒に、おもわずシャッターを切った写真です。



夫(善大さん)と子ども



問い合わせ先

三重県健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課

〒514-8570 津市広明町13番地

TEL : 059-224-2304 FAX : 059-224-2270

Mail : shoshika@pref.mie.jp

<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/000117883.htm>

みえの育児男子プロジェクト

検索